

# チャレ\*くま通信

「チャレ\*くま通信」は就労移行支援事業所チャレジョブセンター熊谷が定期的に発行する広報誌です

## 就職・検定情報

▽今月は1名、就職が決定しました。市役所の事務補助業務です。当センターの卒業生には市役所や公立学校など、公務関係の事務補助職に就職される方も多く、体験談を聞く中で関心が芽生えたようです。「この機会を逃すのは惜しい」と、思い切って応募。鍛え上げた臨機応変さで見事、面接試験を乗り越えました。おめでとうございます。

▽資格試験では今年度、MOS試験で8名が受験し、全員合格。このうち、2名は満点を記録しました。当センター独自の学習法が見事、開花しました。ここ3年は基本情報技術者、危険物取扱者、品質管理検定、簿記、ファッションビジネス検定、校正技能検定など、多彩な資格で合格者が多数出ています。



編集部まえがき

厳しい寒さも少しずつ優しい暖かさへとバトンを渡す時期になった。人もまた新緑に思いを馳せ新たな道を行く。始まりと終わりを祝う紅と白は、儚（はかな）げでありながらもたくましい後ろ姿を静かに見送る。苦労も困難も今はただ駆け抜けよう。いつか笑い話になるから。



## 「なぜか私には重いのがさ」 言葉に感じた違和感に向き合う

何とも言えぬ重さを感じる言葉がある。貴重という意味ではなく、重大という意味だ。もちろんその人なりの経験に根差している。そして、その人なりの受け流し方がある。重い言葉とどう向き合ったのか。通所メンバーが語ってくれた。

### ■「友達」

友達という言葉が心底苦手だ。幼少時代、私は誰にでも話しかけ仲良くなれる風な人間だった。「風」という書き方をしたのは、歳を重ねた自分自身に打ちのめされたからだ。成人してからどれだけの人と連絡を取り合っているか。私と友達と書いていいことか。実際のところ、私と友達と書いていい相手は私に対して同様な感情を抱いているとは限らない。そう悟ってからは、友達という言葉は使わなくなった。私の思う友達とは、親友という言葉の意味に近いのだろう。軽々しく断たれる関係性や扱われる言葉に辟易（へきえき）として今日



はあなたと今日  
あなたと今日  
あなたと今日  
あなたと今日

まで来てしまった。それからというもの、逃げないように「知人」という言葉を用いるようになった。今後、あなたと私の関係性がわかる認定証が発行されることを願っている。

### ■「特技」

また、こいつか。履歴書の整理整頓された文字の中にある、好きにはなれない言葉、「特技」。たしかに、特化した技があるのはよい。人間、一芸に秀（ひい）ると便利なことは山ほどある。

果たしてそれは、自分から申し出るものだろうか。「私はこれが特技です」、そう口に出してしまおうと、うぬぼれているように感じてしまう。世の中、上には上がいる。特技なんて口にしよものなら、上を見ることをやめてしまおう。下を見て満足する。それはまさしく、うぬぼれだ。私にとって特技とは、とてつもなく上の階級名のようなもの。曖昧に名乗ることができない。だから私は、特技ではなく「趣味」と表現する。人は死ぬまで成長中で勉強中。特技は、死に際にも名乗っても遅くないかもしれない。



この川の向こうに渡る時、私は初めて特技と言える

### ■「普通」

私は「普通」という言葉が嫌いだ。多くの人が当たり前だと思ふ「普通」は共感できる。自分ルールに一般的にか、常識的にとか、言って押し付けてくるやつには反吐（へど）が出る。せめて、ウチではこうだけど外ではこうかもしれないと言えれば考え方が変わるだろうに。母と祖母は普通という言葉で揉め事を起こす。それも私という壁を隔てて。互いに引かない性格で押し付けがましい。普通は人それぞれだと言ったが無駄だった。「普通」の意味一つでここまで惨めに成れる。SNSみたくに面（つら）を見ずに済むから醜く争えたのだから。ヒトはどこか抜けていることが美德だと思っているが、ここまで落ちると別だ。私は多用しがちな言葉が一番危険を孕（はら）んでいることばを知れた。ポロっとことばが出るかもだが、使わぬよう気をつけていきたい。